

1168. 群 / 一例

岩澤 健吉 (東大)

「前書: 小生ノ拙話ニツキ岩澤氏カラモット良イ例ヲ教
示サレマシタノデ, ソノ書籍ヲ転載サセテイタケマス。
(中山)」

先日オ同教シマシタ。

「各 Element, order が bounded ナ直接非分解
且ツ order がイクラデモ大キイ群ノ例」

次ノ様トモノヲ考ヘマシタ。勿論中山サソノト大同小異
ナスガ, $p > 2$ ノ素数トシテ \mathcal{O} ノ type (p^2, p^2, \dots, p^2) ナ
ル p^{2n} 次ノ Abel 群トシマス。 B ハ $B^p = 1 + v$ Element
ナ

$$BAB^{-1} = A^{HP}, \text{ all } A \in \mathcal{O}$$

= \exists \mathcal{O} ノ B ナル大ナル \mathcal{O} order p^{2n+1} ノ群 \mathcal{O} ナツク
ナス。 \mathcal{O} ノ任意ノ元ヲ

$$AB^k, \quad A \in \mathcal{O}$$

トスレバ

$$(AB^k)^p = A^{(1+(1+p)^k + \dots + (1+p)^{k(p-1)})}$$

$$1 + (1+p)^k + \dots + (1+p)^{k(p-1)} \equiv p, \text{ mod } p^2$$

ナラ

$$(AB^k)^p = A^p \quad (1)$$

故ニ $(AB^k)^{p^2} = A^{p^2} = 1$

即ち \mathcal{O}_f の元、order は必ず高々 p^2 。又 (1) から AB^p 、
 order が $\leq p + 1$ ならば $A^p = 1$ となる必要十分
 条件が得られる。これより $A^p = 1$ となる A の全体が \mathcal{O}_p とな
 る。このとき $\{B, \mathcal{O}_p\}$ は order p^{n+1} 次、Abel 群であるが
 $\mathcal{O}_f = \mathcal{O}_p$ ならば order $\leq p + 1$ Element の全体となる
 ことになる。

さて \mathcal{O}_f が直積 = 分解可能ならば

$$\mathcal{O}_f = \mathcal{O}_1 \times \mathcal{O}_2$$

と、特 =

$$B = B_1 \cdot B_2 \quad B_i \in \mathcal{O}_i$$

と、なる。 $B^p = 1$ から $B_1^p = 1, B_2^p = 1$ (直積による)

$$\exists \text{ して } B_1 = B^{c_1} A_1, B_2 = B^{c_2} A_2$$

$$0 \leq c_1 < p, 0 \leq c_2 < p, A_1, A_2 \in \mathcal{O}_p$$

$B = B_1, B_2$ による故 c_1, c_2 が $\neq 0$ 。よって $c_1 \neq 0$ と仮定
 する。

さて任意、 $A \in \mathcal{O} = \mathcal{O}_f$

$$B, AB_1^{-1}A^{-1} = B^{c_1} A B^{-c_1} A = A^{(HP)^{c_1}} = A^{c_1 p}$$

$c_1 \neq 0 (p)$ による故 A が \mathcal{O} を動くとき $B, AB_1^{-1}A^{-1}$ は \mathcal{O}_p 全体
 を動く。 $B_1 \in \mathcal{O}_1$ であるから \mathcal{O}_1 は Normalteiler であるから

$$B, AB_1^{-1}A^{-1} \in \mathcal{O}_1, \quad \mathcal{O}_p \subseteq \mathcal{O}_1$$

よって特 = $A_1 \in \mathcal{O}_1$

故 = $B_1 \in \mathcal{O}_1$ から $B^{c_1} \in \mathcal{O}_1, B \in \mathcal{O}_1$

即ち $\{\mathcal{O}_p, B\} \subseteq \mathcal{O}_1$

即ち $\varphi = 1$ 於て $\text{order} \leq p$ なる Element α 凡て $\varphi_1 = 1$ なる素数 α により $\varphi_2 = 1$. ヲツテ φ は直積非分解.

全体 φ , 各 Element α , $\text{order} \leq p$ (即ち $\alpha^p = 1$) の場合 α , α の少シ複雑な群ヲトレバ出来ると思ヒマス. 又 φ が p -群デアルコトヲ要求シナケレバ上と同様ノ方法ヲ用ハシマス, 唯 $B^q = 1$, $q/p-1$, $BAB^{-1} = A^\alpha$, $\alpha^q \equiv 1 \pmod{p}$. トシテ φ が得ラレマス. (直積非分解ノ証明ハコノ方が簡単) (以下略)